研究機関：広島大学

研究課題名	眼内アプローチ緑内障手術の術後成績に影響する各種因子の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学　教授　木内　良明
研究期間	2021年　5月14日(倫理委員会承認後) ～　2023年　3月
対象者 2017年7月から2021年3月の間に、広島大学病院眼科で眼内アプローチ緑内障手術による治療を受けた患者。当院ではab interno 線維柱帯切開術（白内障同時手術と単独手術を含む）とiStentを用いた白内障手術を併用した眼内ドレーン挿入術が該当する	

[redacted]

緑内障手術は、緑内障において点眼治療とともに眼圧下降を図る重要な治療です。その中でも近年は眼内アプローチで行う低侵襲緑内障手術が、広く行われています。特に線維柱帯切開術では切開範囲や部位による治療効果（術後の眼圧）が変わるかなど、術後経過各種因子はまだ研究途上であり、詳しく知る必要があります。今回、後ろ向きにすでに行われた手術の内容と術後の経過を分析して、その関係を知り、今後の術式改善につなげるためにこの研究を計画しました。

方法

本研究は，診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は、手術記録（線維柱帯切開術での線維柱帯の切開範囲）、術式、眼側、年齢、性別、術前眼圧・視力・点眼数、術後眼圧視力・点眼数です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関